

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 政策評価（効果検証）について

資料3

交付金概要

- 地方版総合戦略に基づく、自主的・主体的で先導的な事業を支援し、KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援。
- 地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保。

効果検証

- 外部有識者を含む検証機関を設置し、議会の関与等も含めてKPIの達成度について効果検証を行うことが必要とされているところ。
- 各年度ごとに目標値を設定し、実績値が目標値を上回っていれば「達成」とし、上回らない場合は、基準値（策定時）からの状態によりそれぞれ「前進」、「横ばい」、「後退」と定義する。

事業名称	計画期間
1 島の作物まるごとSADOSANブランド化構築事業	R3～R5
2 持続可能な観光の島を目指した「佐渡版MaaS」実証事業	R4～R6
3 日本一輝けるスタートアップアイランド ～多様な人財が集まり、安心して暮らし・働き・チャレンジできる島づくり～	R4～R6
4 「元気なしまびと」を起点とした「魅力あるしま」づくりプロジェクト	R4～R6
5 安心して暮らし続ける島×地域循環共生圏の創出 ～多様な連携による持続可能な仕組みづくり～	R5～R7

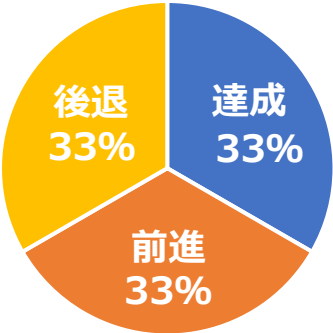
島の作物まるごと SADOSANブランド化構築事業

開始年度	R3年度（3年目）
総事業費	9,199,517円
交付金額	4,599,758円

概要

- 安全・安心な「オール佐渡産」にこだわった作物のブランド化
- 持続可能な生産体制による地域農業の魅力向上・地域力再生

KPI



進捗状況

- ・無農薬無化学肥料での栽培による園芸品目を保育園からECサイトでの販売につなげ、佐渡産のブランド構築の底上げと通年で提供できる仕組みづくりを進めることで、認知度の向上にもつなげることができた。
- ・重点品目であるアスパラガスの生産拡大のため、生産技術の習得と併せて、新規栽培の後押しを行うことができた。
- ・商談会では、試食を含めたマッチング商談会を実施し、地鶏ひげや佐渡番茶などの新しい食材を紹介、PRすることができた。
- ・担い手確保、集積・集約化など地域農業の維持につなげるため、システムを活用し、農地情報と担い手情報をつなぎ、将来的な推移を計測することで集落との話し合いの強化を進めた。

■進捗状況
【達成】実績値が目標値を上回り、達成した状態
【前進】実績値が目標に向かい、基準値（策定時）から前進している状態
【横ばい】実績値が基準値（策定時）から変動が見られない状態
【後退】実績値が基準値（策定時）の数値より後退している状態
※割合（%）は【達成】～【後退】の小計を分母にしている

KPI		進捗状況	
ECサイト販売額（JA佐渡ベース）		達成	
・事業開始前 0千円			
・R5実績値 23,145千円（R5目標値 18,000千円）			
新規就農者数		前進	
・事業開始前 2経営体			
・R5実績値 7経営体（R5目標値 10経営体）			
戦略作物島外出荷量		後退	
・事業開始前 47.80 t			
・R5実績値 37.85 t（R5目標値 72.20 t）			

今後の方針

- ・希少な品目や少量であっても取引を行いたいという問合せも多くなってきており、積極的な出荷を農家に促すことで、全体的な出荷量の増大につなげる。
- ・地域における農地情報と担い手情報をつなぎ、担い手確保、集積・集約化など地域農業の維持につなげる。
- ・サドメシラン店舗の意向なども踏まえ、佐渡の魅力をしっかり伝え、継続的に取引可能な体制づくりを行う。

日本一輝けるスタートアップアイランド

～多様な人財が集まり、安心して暮らし・働き・チャレンジできる島づくり～

開始年度	R4年度（2年目）
総事業費	59,602,279円
交付金額	29,801,139円

概要

- UIターン者の定着化に向けたフォロー／佐渡出身者のコミュニティ強化
- 島内企業全体のブランド力向上、選ばれる会社になるための仕掛けづくり
- ベンチャー企業のスタートアップ拠点／企業研修施設の整備
- 小学校と企業の連携を通じた会社運営事業による若者定着化

KPI

進捗状況

- ・求職者と事業者をつなぐマッチングシステムを構築し、就業機会増加による人手不足解消に寄与した。（登録者1,528名 事業所127社）
- ・シェアオフィスに1社の企業を誘致し、地元企業との交流促進を図った。また、古民家を活用してワーケーション拠点施設を整備した。
- ・インターンシップを全国から募集したことにより、参加学生を増やし、年間で18名の参加を得ることができ、うち1名が島内企業就職に繋がった。
- ・新潟大学学生の佐渡での起業を目的として20名もの学生が参加し課題解決型の人材育成事業を実施した。
- ・島内の小学生を対象に「佐渡式株式会社（仮称）」を開催し、地域学習や佐渡の魅力発信の経験を通じて郷土への愛着心を涵養した。
- ・UIターン者の受入促進のための情報発信をはじめ、定着支援の仕組みづくりを進めたことで、572名のUIターン者を受入れた。

■進捗状況
【達成】実績値が目標値を上回り、達成した状態
【前進】実績値が目標に向かい、基準値（策定時）から前進している状態
【横ばい】実績値が基準値（策定時）から変動が見られない状態
【後退】実績値が基準値（策定時）の数値より後退している状態
※割合（%）は【達成】～【後退】の小計を分母にしている

KPI		進捗状況
UIターン定着率	UIターン者数	
・事業開始前 0%	・事業開始前 504人	達成
・R5実績値 74.05%	・R5実績値 572人	
(R5目標値 70.00%)	(R5目標値 550人)	
インターンシップ受入企業数		後退
・事業開始前 10社		
・R5実績値 9社	(R5目標値 21社)	
ベンチャー企業の本社機能移転数		横ばい
・事業開始前 0社		
・R5実績値 0社	(R5目標値 3社)	

今後の方針

- ・佐渡暮らしサポーターを拡大し、活動を推進するとともに、UIターンサポートセンターにおける定着支援に関する活動を強化することで、定着率の向上に努める。
- ・島内企業の就職に繋がった「企業の採用に重点を置いたコンセプト」のインターンシップを次年度も開催する。
- ・古民家を活用した企業研修・ワーケーションの拠点を整備し、企業誘致や連携、本社機能移転に繋げていく。

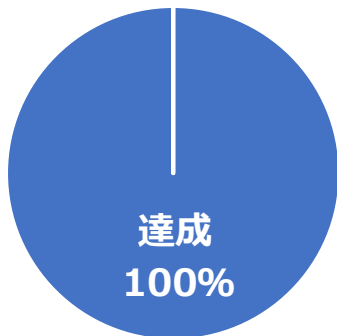
「元気なしまびと」を起点とした 「魅力あるしま」づくりプロジェクト

開始年度	R4年度（2年目）
総事業費	39,985,136円
交付金額	19,992,567円

概要

市民が生涯にわたって活躍できるまちを目指し、青少年からお年寄りまでの健康寿命、食育、運動にアプローチした事業を展開するほか、都市部の人材との一体的な取り組みにより、地域づくりに資する人材＝「元気なしまびと」として、地域課題の解決に取り組む地域共生社会＝「魅力あるしま」を実現する。

KPI



■進捗状況
【達成】実績値が目標値を上回り、達成した状態
【前進】実績値が目標に向かい、基準値（策定時）から前進している状態
【横ばい】実績値が基準値（策定時）から変動が見られない状態
【後退】実績値が基準値（策定時）の数値より後退している状態
※割合（%）は【達成】～【後退】の小計を分母にしている

総括

- ・社会福祉協議会が進める地域課題解決に向けた住民主体の体制づくりを支援し、地域力向上を推進した。
- ・個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域活動団体等が提案する元気な地域づくり支援事業に対する補助金の交付などにより、地域コミュニティの維持を図った。
- ・ボランティア活動及び災害時の支援体制について、住民啓発を図るとともに、ネットワークの構築を図った。
- ・健康寿命への意識の醸成を図るため、健康フェスティバルを実施したほか、スポーツ・レクリエーションの普及を進め、健康づくりの促進を図った。

KPI

地域づくり活動に関わった人数

- ・事業開始前 4,442人
- ・R5実績値 7,111人（R5目標値 4,506人）

しまびと元気応援団参加数

- ・事業開始前 4,299人
- ・R5実績値 10,350人（R5目標値 5,779人）

健康・スポーツ教室、
ウォーキング教室の
参加者数

- ・事業開始前 1,380人
- ・R5実績値 2,429人（R5目標値 1,540人）

進捗状況

達成

今後の方針

- ・持続可能な地域づくりを推進するうえで、集落の活動をより促進できるよう事業主体の整理、見直しを図る。
- ・しまびと元気応援団の参加者増に向けて、地域や関係団体・機関との連携を図り、つながりを活かした健康づくりを継続する。
- ・各種教室のアンケート結果等から内容をブラッシュアップし、参加者増を図る。また、健康づくりの意識付けを図り、健康寿命の延伸に取り組んで行く。

持続可能な観光地域づくりを目指した 「佐渡版MaaS」実証事業

開始年度	R4年度（2年目）
総事業費	74,707,395円
交付金額	37,353,696円

概要

- 交通ネットワークの実現による観光地域づくり、地域交通網の維持
- MaaSによる新たなモビリティサービスの構築
（高齢者の移動手段確保：タクシー共同配車など）

KPI



■進捗状況
【達成】実績値が目標値を上回り、達成した状態
【前進】実績値が目標に向かい、基準値（策定時）から前進している状態
【横ばい】実績値が基準値（策定時）から変動が見られない状態
【後退】実績値が基準値（策定時）の数値より後退している状態
※割合（%）は【達成】～【後退】の小計を分母にしている

KPI

1人当たりの旅行消費額

- ・事業開始前 39,535円
- ・R5実績値 51,494円（R5目標値 49,845円）

観光旅行者の満足度

- ・事業開始前 29.20%
- ・R5実績値 34.00%（R5目標値 31.70%）

路線バス利用者

- ・事業開始前 35万人
- ・R5実績値 38万人（R5目標値 37万人）

総括

- ・さどまる倶楽部アプリの改修により、会員データの詳細な分析が可能となり旅行傾向や属性に基づくマーケティング戦略が検討可能となった。
- ・CRM体制の整備とし、DMOと連携してさど観光ナビによる新規顧客への訴求や、来訪者に対する満足度調査などを実施し、その結果に基づく既存顧客へのダイレクトセールスなどを行った。
- ・観光案内所に町歩きガイドを常駐させ、各エリア内を深く楽しめる体制を構築した。
- ・タクシー利用者の利便性向上及び事業者の配車効率化、業務軽減につなげるため、市内のタクシー事業者6社のタクシー一括共同配車を行った。

進捗状況



今後の方針

- ・会員の状況に応じた必要な情報の配信に加え、心理学的属性のターゲティングを行っていく。
- ・世界遺産を核としたブランディング、再訪問の契機となる魅力の磨き上げを行い、地域の賑わい創出及び交流を促進させる。
- ・バス・タクシーだけでなく、地域が持っている交通資源について、デジタル技術を通じてフル活用することで、誰もが利用しやすい地域交通の確保を目指す。

安心して暮らし続ける島×地域循環共生圏の創出

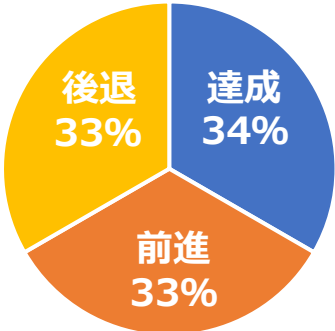
～多様な連携による持続可能な仕組みづくり～

開始年度	R5年度（1年目）
総事業費	12,889,664円
交付金額	6,444,831円

概要

- SDGsの普及啓発に資する取組の展開
- 再エネ導入の普及促進／低炭素化、再エネの自立分散化・地産地消の促進
- 島たびバイトの仕組み構築及び受入れ環境の整備
- 佐渡市総合戦略アドバイザーによる佐渡未来講座の開催

KPI



■進捗状況
【達成】実績値が目標値を上回り、達成した状態
【前進】実績値が目標に向かい、基準値（策定時）から前進している状態
【横ばい】実績値が基準値（策定時）から変動が見られない状態
【後退】実績値が基準値（策定時）の数値より後退している状態
※割合（%）は【達成】～【後退】の小計を分母にしている

- ### 総括
- ・SDGsパートナー向け認定盾等の作成や、SDGs未来都市の東京都豊島区への芸能団体派遣による文化交流を行い、市内外にSDGsのPRを図った。
 - ・EV公用車のカーシェアリングについて、夏季観光シーズンである繁忙期に利用実績が多く、レンタカー不足に対し有効活用されていた。
 - ・連携大学に対する制度周知不足や大学生が希望する職種や業務が限られていたことから島たびバイトの受入実績はわずかとなった。
 - ・外部専門機関の知見・ノウハウにより自治体SDGsモデル事業に選定された。佐渡総合戦略アドバイザーを招聘した佐渡未来講座を開催し、ステークホルダーとの連携が深まったほか、島内外の企業から様々な事業提案が集まった。

KPI

SDGsパートナー加入数

・事業開始前 52社

・R5実績値 48社 (R5目標値 68社)

市内総生産額

・事業開始前 170,300百万円 (R1)

・R5実績値 158,074百万円 (R3) (R5目標値 172,475百万円)

再生可能エネルギー設備等の導入件数

・事業開始前 0件

・R5実績値 103件 (R5目標値 53件)

進捗状況

- ➡ 前進
- ➡ 後退
- ➡ 達成

今後の方針

- ・市民への情報発信、子どもたちの巻き込み、庁内連携の3つの方向性をもってイベントや広報を行う。
- ・「さどマッチボックス」を活用しながら、働き手と受入企業の確保を進める。
- ・太陽光をはじめとした再生可能エネルギーの地産地消を推進するため、太陽光発電設備等導入、電気自動車購入に係る経費の一部を支援する。